



# 新春を迎えて

# 二松学舎大学 父母会報

平成5年5月10日創刊  
平成24年1月20日発行  
(第75号)

二松学舎大学父母会

(本部)東京都千代田区三番町6番地16  
(事務局)千葉県柏市大井2590  
〒277-8585 TEL.04(7191)8756

二松学舎大学柏事務局

題字は  
故 観山貞廣常吉先生書



## 辰年に向けて 行動を起こそう

父母会長 篠塚義光



皆様におかれましては健康やかに新年を迎えられたこととお喜び申し上げます。

また震災により被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈り致します。

昨年は父母会の活動においても三月の東日本大震災により父母会総会・地区別父母懇談会の延期など年度当初は多大な影響を受けましたが皆様方のご支援を賜りこれまで予定されていた行事等は滞りなく執り行うことができました。改めて父母会会員の皆様のご協力に感謝申し上げます。

日本経済は震災のほかタイの洪水による生産活動の減退、また欧州の金融不安による円高など依然として

不透明な状況が続いております。このことは学生の就職活動にも影響を及ぼし四年生の就職状況は例年になく大変厳しいものとなっております。しかし、ただ厳しい状況だから仕方がないとはあきらめず、まずは自分から行動を起こして下さい。これは就職活動だけではなく、一学年、二学年の学生は進級に向けて自分のやるべき事を考え将来の自分の夢をかなえるための行動をして下さい。その為には大学での授業を大切に、また、真剣に取り組んで頂きたいと思っております。三年生の学生は既に就職に向けた企業説明会等を聴取していると思いますがすべてにおいて自分の思い通りに進むことは難しいでしょう。しかし難しいからと言って頭で考えているだけでは何も起こりません。自分が行動を起こすことで必ず道は開けると思えます。その為に大学のキャリアセンター、教職支援センター等を活用して下さい。ご父母の皆様も子供たちに大学を積極的に利用することを話して下さいませようお願いします。

最後に、平成二十三年度の父母会活動も終盤を迎えております。役員一同一丸となり最後まで全力で父母会活動に取り組んでまいりますので引き続きご支援をお願いします。

父母会会員の皆様にご挨拶を申し上げます。また、日頃よりお寄せいただいたご理解とご支援の教育研究活動へのご理解とご支援に対し、心より厚く御礼申し上げます。

日出 乾 坤 輝

ひいでて けんこん かがやく  
元旦の水平線上に朝日が上がり、燦爛と照りだせば、天と地のあらゆるものが輝きだします。山川草木全てのものに、陽の輝きが当たり、それぞれの存在価値が、明らかにあります。新年の陽光は、素晴らしいのです。今年も、昨年同様、未曾有の災害を乗り越えて、昇り龍のように、大いに飛躍する年になつてほしいと思います。

学校法人二松学舎（以下本学）は本年十月十日創立一三五周年を迎えます。本学は教育機関として長い歴史と伝統を保持しております。これまで、時代を担う教育機関として着実に実績を積み重ねてきたように、今後五十年間、百年間、時代を先取りした教育機関として健在であり続けていく使命があります。このため、先ずは十年後、二十年後を目標とし



年頭所感

て、現在よりも更に充実した二松学舎大学を実現するため、本学教職員学生、その父母を始め、本学に関連する全ステークホルダーから頂いた本学の将来像及び教育の在り方に関する二百件近くの提言を、皆さんの総意としての長期ビジョンとして取り纏めていきます。

頂いた提言内容を概観しますと、皆さんの意見は、ほぼ共通しています。すなわち、建学の精神である「東

洋の時代を迎え、その考え方を実現していく時が来た、それもスピードを持って、ということではないでしょうか。

これまでも度重ねて申し上げておりましたが、世界は東アジアの時代になって来ており、我が国は世界経済を牽引する中心地にあります。こうした時代と地の利を生かし、かかる情勢に適応できる人材を育成していくために、大学の諸改革を進め、時

学校法人 二松学舎

理事長 水戸 英 則

代に適う人材の輩出に努めていく使命があります。

具体的には、国漢の二松学舎として引き続き国語科教員を含めた教員養成・輩出に力を入れていくほか、国文・中文の古典を本業としつつ、時代が要求する新しい学部像の実現や学部学科新設を検討していく必要があります。また文学部、国際政治経済学部にも所属する多数の教員を相互に活用して、英語、中国語など語

学を必須として、教育課程に工夫を加えて中国を始めとする東アジアを視野に入れたグローバルな人材養成が必要です。なぜ東アジアかというと、わが国企業は東アジアを一体化した生産、販売ネットワークを構築し始めており、今後アジアの一体化が加速し、連れて国内雇用市場が細つていく見通しがあるからです。



皆様、新年明けましておめでとうございます。

ご父母の皆様には、常日頃二松学舎大学をご支援下さり、誠に有難うございます。

さて、本年は学祖三島中洲先生が明治十年に漢学塾二松学舎を開塾してから、百三十五年になります。これを機に二松学舎大学の原点について考えてみたいと思います。



年頭所感

— 修己治人の実践 —

二松学舎大学

学長 渡辺 和 則

本学の教育研究の目的は、修己治人、「己を修め、人を治む」を実践する人材の養成にあります。

本学で学ぶ者は単なる知識技能の修得に止まることなく、能力と人格の両面において自分を磨き、卒業後は社会の各分野において信頼され、貢献できる人物とならねばならぬ、ということです。したがって、本学の学生には、この責務を自覚して自分を磨くことが求められているのです。

これに関する名文があります。少々長いですが、ここに紹介します。

「本校より社会へと巣立った卒業諸子は伏峇（ぶくりょう）である。世

弊を濟ふべく使命づけられた伏峇である。

伏峇は和名マツホドという松根に生ずる菌類である。「松脂滴入地。千歳則為伏峇（松脂滴りて地に入る。千歳なれば則ち伏峇と為る）」といはれ、又、長生を資すけ疫病を治すといはれ、漢医の宝薬である。卒業諸子は社会の中堅として、一世の木鐸として、時弊を匡正し国家擁護する人中の伏峇でなくてはならぬ。余

が敢えて松峇の字を本会に冠すべく助言した微意は茲にあるのである。

松脂が地に入って伏峇となるには千年を要す。大器は晩成す。卒業諸子は持重真修して、山路にころころして居る松毬とならず、地中千年の伏峇となれ。（『二松学舎百年史』、六〇三—六〇四頁、括弧内は引用者が追加）

これは、二松学舎大学の同窓会組織「松峇会」の名付親の山田準先生

義・演習が多数あります。また、国際政治経済学部では、政治学、経済学、法学、哲学などの授業で、過去の優れた思想や理論を学びます。

しかしながら、もしかすると学生諸君の中には、古典の解説書を読み、それで済ませている人が多いのではないのでしょうか。たしかに古典は難解です。がしかし、それは、過去の優れた人たちが実際に存在した難しい問題について何年も熟考を重ねた末に書き上げたものだから、その内容が難しいのは当然です。それを一回や二回読んだだけでわかるとうとするのは、学問をする正しい態度とは言えません。古典を読む場合、脳に汗をかきながら謙虚な気持ちで、熟読静思し、

作者の意思語脈を心目の間に瞭然たらしむる、という態度が最も大切なのです。

古典を読むことは、社会人になつてからも、続けてください。そうすれば、厳しい人間関係の中におかれても、精神的ゆとりと抱擁力のある人に成長していかると思います。

本年も健康に気を付けて、労を惜しまず果敢に新しいことに挑戦していきましょ。

# 平成二十三年年度 地区別父母懇談会 アンケート結果

平成二十三年十月八日(土)に九段校舎・二十二日(土)に柏校舎で開催された父母懇談会でのアンケート結果の一部をここに掲載いたします。

## 1.「懇談会」について

### 【九段校舎】

◇どここの階に行ってもわからないことがあると丁寧に説明して下さいありがとうございました。

◇授業の方で四月五月に出席状況をチェックしていたとのこと。できればあと二回程度(一回でも)チェックをしていただけると助かります。

◇授業の説明がわかりやすかったです。

◇質疑が無かったので、懇談会という感じはしませんでした。職員の方、先生方の落ち着いた雰囲気がこの大学を表している感じがしました。

◇履修のしくみについてよくわかりました。

### 【柏校舎】

◇丁寧な説明で良かったです。

◇とても学校の様子がよくわかりました。参加できて良かったです。ありがとうございました。

## 2.「学食」について

### 【九段校舎】

◇おいしいお弁当ありがとうございました。13Fのラウンジも使用させていただけたこともとても良かったです。改めて環境の良さを実感しました。このような環境の中で勉強できる学生達はとても幸せだと思います。

### 【柏校舎】

◇安くて気に入りました。唐揚げがおいしいと聞き試食しましたが、とてもジューシーでした。

## 3.「就職状況の説明」について

### 【九段校舎】

◇現在の就職活動について大変参考になりました。私も企業の中で働く一人ですが、最近コミュニケーションの取れない新入社員が増えています。携帯メールが多く言葉で話すことが少なくなったからでしょうか...と思えました。現在三年生ですが非常に厳しい活動に나ると思っております。

◇学部別に行っていたけるとわかりやすいかと思えます。  
◇大変わかりやすかったです。  
◇社会からの二松学舎生(卒業生)の評判はどのようなものなのでしょうか?  
◇神河部長の説明は大変わかりやすくキャリアセンターがとても身近なものになりました。  
◇今回のお話は具体的な数字をあげてのわかりやすいものでしたので次回も同じ様な内容だとありがたいと思います。  
◇もう少し具体的な事案が欲しかったです。

### 【柏校舎】

◇わかりやすい説明で、しっかり子供を支援していく気持ちを新たにいたしました。  
◇とても参考になりました。  
◇情熱的で具体的に良かった。  
◇二年の母ですがやはり状況が気になります。図書館司書・学芸員になれる方はいるのですか?そういう状況も教えていただきたいです。

## 4.「個別相談」について

### 【九段校舎】

◇大変参考になりました。学生を大切に下さっていることがわかり嬉しかったです。

### 【柏校舎】

◇相談を受けて良かったです。これからもご指導よろしくお願い致します。

## 5.その他

◇学生相談室の奥野先生やキャリアセンターの方々に話を聞いていただき少し安心しました。年に一度大学の教授や職員の方々と顔を合わせる機会をいただけることはとてもありがたいことだと感じます。今年は日程用紙がブルーの紙でも見やすく見つけやすくて良かったです。  
◇災害時の授業の有無は何を基準にするのですか?



# 海外研修報告

国際政治経済学部 教授 清水 秋雄



アメリカ医療教育制度の調査のため、MD Anderson Cancer Centerを訪れた。この癌センターは、Texas Medical Centerの広大な敷地のなかにあるが、The University of Texasに所属する。このセンターの名称は寄付者の名前に由来し、一九四一年に設立された。二〇一〇年のU.S. News & World Reportの "America's Best Hospitals" の調査報告によれば、このセンターはアメリカ全国トップの癌治療病院と評価された。過去の九年年間に七回もトップと評価された。このセンターで実習するか、勤務するかは、医師としてあらゆる面において最高の成績でなければ採用されない。採用方法は、Match (マッチング・組合せ) によって決められ、応募する人は推薦書、医師免許試験成績、在学成績証明書など十二項目の例外を除けば、主に、前記三項目のよさによって決められるのである。

成績が非常に良くなっても、推薦書は平凡ならば、言い換えればこの人の品格のよさを強調しなければ採用されない可能性が高い。この病院のありかたについては、ある実習医の話しによれば、このセンターは金持ちさんの病院だ。世界の金持ちは病気の治療のために、ここへ飛んでくる。思うに、アメリカの医療保険制度の下にはこのような現象が存在できる。すなわち、病気の治療は金次第である。日本の健康保険は国営であり、もとより、平等になるはずである。それなのに、不平等のところも存在しているようである。これは医師の倫理や病院経営の理念の問題であろう。最後に、本学の父母会の助成にここで感謝の意を表したい。

◇地震対策について、もしも震度6強以上の地震があった場合、千葉から通学している娘は自宅に帰ることが大変難しくなるといいます。そのような場合お世話になることもあるかと思えます。よろしくお願いたします。  
◇柏校舎の今後はどうなるのでしょうか?何か?何らかの広報等でお知らせいただけましたら幸いです。  
◇四年生のこの時期に就職活動し予定をもちました。企業の名前等一覧表にしても良いのではないかと?二十三年卒の企業等のリーフレットのように立派にしないで速報みたいな感じでどうですか?四年生の体験発表を聞ききたかったのに今年は無いとのことでした。残念でした。  
◇13Fの景色だけでは学生増は難しいのでは?就職の面倒見の良い大学という点をもっとアピールして食堂の味、メニュー数も工夫がかなり必要だと思えます。他大学はテレビでとりあげられたりするところもありますし、(スポーツも強くないし)まずそういうところから。

◇ご理解とご安心をいただいたのではなないかと思われまます。  
◇出席いただきました父母の皆様、貴重なご意見をありがとうございました。





# 創 縁 祭

できました。  
 今回は、開催日二日目に片付けを行うという強行スケジュールでしたが、大きな怪我をする人も無く無事に終了することができたのも、実行委員、各クラブ、サークル、ゼミ、父母会や松苓会、教職員の方々が、この創縁祭を運営するにあたって協力して下さいのおかげです。この場をお借りしてお礼を申し上げます。本当に有難うございました。  
 来年も更なる創縁祭の飛躍を目指して、実行委員だけでなく二松学舎が一丸となって学園祭を創っていきたくと考えております。どうぞよろしくお願い致します。

平成二十三年十一月、創縁祭が無事に終了致しました。  
 今回のテーマは「陽射し〜僕らのデンキを作れ!〜」でした。天災に見舞われ、暗くなった雰囲気の中、創縁祭を通じて少しでも来場者の方に明るくなってもらえるよう、創立百三十四年にちなんで「(ひ)三(さ)四(し)」というテーマにしました。そのため、節電やエコにちなんだ企画や装飾を準備し、当日まで一生涯頑張ってきました。

学園祭実行委員長  
 小堀 真緒



### 奨学金受給者 合格体験記

「支えられて」

国文学科四年 西村 光希

私は東京都中高共通国語の教員採用試験に合格しました。しかしこの合格は一人では成し得ないものでした。同じ教職の道を目指し切磋琢磨した大学の友人達、勉強面でもメンタル面でも力強く、優しく支えて下さった先生方、大学へ行かせてくれた両親、そして、いつも温かいご飯を作って笑顔で私の帰りを待っていてくれた祖母がいたからです。

昨年三月、未曾有の大震災が起きました。私は大学で教員採用試験合格講座を受講していました。帰宅は困難で、その日は大学で一夜を過ごしました。そこで感じた人の温かさを私は忘れることができません。私は多くの人に支えられているのだとまさにその時実感したのです。同時に、私も誰かを支えられる人間でありたいと思ったのです。教員採用試験合格はゴールではありません。教員として、人として、これからも少しずつ成長していきたいと思っています。

最後に、両親に面と向かって「あ

りがとう」と言えない私に、感謝の気持ち伝える機会をくださった父母会広報係の皆様感謝しています。

### 「採用試験を振り返って」

国文学科四年 佐藤 由香里

私は今回、東京都の教員採用試験において(中高共通)に合格することができました。この合格の大きな要因として、やはりこの二松学舎大学で学んだということが挙げられると思います。国語の教員を目指して入学した私にとって、二松学舎大学は絶好の場所でした。特に一年次の春休みより開講の採用試験合格講座では、試験の対策はもちろん、同じ目標を持った仲間が存在が励みでした。これらが、試験本番では大きな自信となったと感じています。

また、二年次より百三十年記念父母会奨学金に採用して頂いたことは、毎年講座を受講する上での大きな支えとなりました。更に、三月の震災で被災した福島県出身の私にとっては今年度の授業料免除のご配慮は、とても心強いことでした。

最後に、ここに至るまでには先生方・友人・家族など周囲の人々に支えられて辿り着くことができたと感じています。今後も感謝の気持ちを忘れず、常に学ぶ姿勢を大切にしながら日々努力していきたいと思っています。

いよいよ、十二月一日より三年生の就職活動が本格的にスタートしました。

二ヶ月後ろ倒しの影響がどうなるのか、また「ソー活」元年としてフェイスブックでの就職活動が紹介されるなど、昨年以上に過熱報道されています。

そんな中、十二月三日(土)に、幕張メッセにおいて千葉県のある大学が合同で実施する「就活応援セミナー」が開催され、約百社の企業が参加しました。学生にとってはこのセミナーが実質のスタートとなることから、予想をはるかに超える四〇〇名の学生が参加し、用意していた資料が足りなくなってしまうほどの大盛況でした。本学学生も二〇〇名ほどが参加していました。中には、早くから会場に行ったのに中々入場が出来ない学生もいたようです。昨今の学生は、真面目でおとなしいので、このようなセミナーでもしっかりと並んで待っています。長時間の順番待ちで、やっと入場できても、聞き取れるかどうかの距離で説明を聞き、疲れ果てている学生を目にしました。しかし、一方で最終時間近くでは、かなりの空席があり、ゆつくり説明を聞くことができた学生もおります。人と同じやり方を少し変えてみることで、

有意義な就職活動が出来ることもあります。そんな少しの差が大きな差となってくるのかもしれない。

心配なこと、今回のセミナーの経験から「並んでも入れないから」「希望の企業ブースに座れないから」と就職活動そのものを諦めたり、投げ出ししてしまうことです。

今後の各就職情報会社のセミナーでも同様の混雑が想定されます。体調には充分留意して、諦めず頑張ってください。

今回のセミナーで刺激を受けたのか、キャリアセンターを利用する三年生が増えました。今の気持ちを大切に、就職活動を続けられるよう、全力でサポートしていきたいと思っています。

三年生の本学最大のイベントとしては、十二月三日(金・祝)にホテルグランドパレスにおいて、企業研究セミナー(学内合同企業説明会を実施します。この号が出る頃には参加状況なども判明しておりますが、このセミナーは「二松学舎大学の学生」のためだけに多くの企業が参加するものです。先に紹介した企業セミナーのように並んでもブースに座れないというようことはありません。

## キャリアセンター だより 25 キヤセだより

学生相談室は今年で開設二十周年を迎えます。この間、いろいろな学生さんとの出会いがありました。また、親御さんとの協力関係も思い出深く、いつも親御さんの我が子と思う気持ちのあつさが伝わってくるものでした。

親御さんとの相談の中では、お子さんの暮らしぶりをみて歯がゆい気持ちになったり、お子さんとの関係にいらだつたりする様子をよくお聴きします。本当に、お子さんの行き詰まった気持ちを共に共鳴して、心を痛めている様子が伝わってきます。

たとえば、不安が強く、学校に行く前から緊張感でいっぱいになり、学校に行くことを諦めてしまうような場合。行ってみることなく諦めてしまうのは、許せないと言ふ気持ちになるのも当然のことのように思います。また、要領よく立ち回れずに、失敗を繰り返してしまふような場合など。大人の目から見ると、情けなくなくて、感情的な言葉が口をついて出ることあるのではないでしょ

学生相談室  
だより 75  
カウンセラー・教授 改田 明子

もちろん、そのような心からの言葉によって親御さんの気持ちも伝わって、新しい展開が生まれることもあるでしょう。ただし、そのような言葉の力は、繰り返すほどにその好ましい効果を失ってしまい、「棘に釘」状態になってしまふもののようにです。

むしろ、感情的になつたときは、思わず出た売り言葉に買い言葉で、落ち着いて考えれば言わなくて済んだような強い言葉を使つてしまい、さらに葛藤を深めてしまふこともあるようです。感情と感情のぶつかり合いへの処方箋は、気分転換して落ち着くことです。場所を変える、話をいったん打ち切るといふ方法はいかがでしょうか。

親子仲にも礼儀あり。未熟さは自分自身でも身にしてみているもの。大人としての自信は、身近な大人から大人として対応されることを通じて芽生えてくるものなのかもしれません。

卒業生たちも、このセミナーに参加した企業にチャレンジし、内定を得、現在もその企業で活躍しており、高い評価を得ています。

このセミナーに参加するかしないかで、その後の就職活動への意識も大きく変わってきます。もし、お子さんがこのセミナーに参加していなかったようでしたら、一度キャリアセンターに足を運ぶようご指導ください。

キャリアセンターでは、まずは、このセミナーに参加した企業から内定をもらうことを第一目標として学生を指導しています。

三年生の就職活動がスタートしたことで、未内定の四年生の中には、「もう就職できないのではなか」と思う学生も始めているようです。

クなどの「対人での活動」が中心となります。

その中でも、キャリアセンターに来る求人は「その大学の学生を確実に欲しい」企業からのものです。内定に結び付く可能性は非常に高くなります。現に、キャリアセンターの紹介で、四年生の内定が今も出ています。

これは本学に限らず、どの大学でも共通です。この時期からの内定者数の伸びは大学・キャリアセンターの腕の見せ所といえるのかもしれない。

卒業研究も終了し、卒業までに就職を決めたいという強い意志を持つて来室いただければ、スタッフ全員でサポートしていきます。未内定学生のご父母の方は、ぜひキャリアセンターの利用を勧めてください。

一・二年生には、これから春休みの講座をご案内していくこととなります。そのためにはまずは、JNETのメールシステムへの登録をお願いしております。

# 交換留学生の声

平成二十二年派遣留学生として中国の北京大学に派遣された松本碧涯さんから留学生生活の思い出、また平成二十三年度交換留学生としてオーストラリアのサザランランドアンナさんから、日本での大学生活について綴ってもらいました。

## 出会いから得られた外国語学習のヒント



文学部 中国文学科 四年 松本 碧涯

な出会いの中で気づかせてもらった外国語を勉強する上で大切なことを二つ、お伝えしたいと思います。

一つ目は、会話の授業で感じたことです。その授業には色々な国の人が出て、教科書に出てくる表現を勉強する以外に、お互いの国について話し合う機会がたくさんありました。初めての話し合いの時、先生が指名していたので、私は呼ばれるまで待たなければと思っていました。しかし、あるアメリカの学生は関係なく、手を挙げてどんどん発言し始めました。あまりの勢いに圧倒されてしまったのを覚えています。それと同時に、私もあれくらい貪欲な姿勢で授業に望まなくては、と思いました。いざ発言しようとする、「これはどうやって言った方がいいのだろう」と思って言葉に詰まることがありました。

こうして留学に関することを書く機会を頂き、留学前と後で自分がどう変化したか、改めて考えてみました。今回は、中国での様々な出会いの中で気づかせてもらった外国語を勉強する上で大切なことを二つ、お伝えしたいと思います。

二つ目は、日本人何人かで食事をした時のことです。書面語等、普段あまり使わない表現などを勉強する必要はないのでは、と言った友人に対して別の友人が「日本語でも『富士三鷹三茄子』なんて言葉、一年に一度使うかわからないか。だけど皆知ってる。それは中国語でも同じこと。ましてや母国語でないのだから、そういうこともきちんと勉強しないと」と言いました。それを聞いて本当にその通り、それが中国語に限らず、外国語を勉強するということがたと思えました。

これらの経験は、特別なことではなく、考えてみれば当たり前のことかもしれません。しかし、「どうすれば語学力を向上させられるか」と考えている私にヒントを与えてくれました。この文章を読んで、少しでも同じように感じて頂けたら嬉しいですよ。

## 何事にもなるベイクポジティブ



シドニー工科大学 二年生 サザランランド アンナ

来日してからあつという間にもう四ヶ月がたちました。本当は私は交換留学で一年間日本にいた予定でしたが、昨年の三月に起こった大震災で日本にいた期間が半年になりました。短くなったことで最初はがっかりしましたが、「私よりもっと恐ろしい状態にいる被災者がいるから文句なんか言えない」と思いました。それで私は自分がいる状態をもっとポジティブに見るようにしました。

私は日本にいた間、授業で楽しく勉強したり、たくさんの方達を作ったり、東京で遊んだりしました。しかし、実は最初は日本に住むことに慣れるのに少し時間がかかりました。もししたら、日本に来た当時私は日本の環境や生活に慣れていなかったたので、肉体的にそして精神的に疲れました。だからその頃、風邪は簡単にひき、頭痛になりやすかったかもしれません。日本に来たのは初めてではありません。以前、家族と

旅行に来たことがあります。だから、私にとって日本に留学するのは期間が長くなったぐらいで、それ以外は以前日本に来た時とあまり変わらないかと思っていました。でも、そんなことではありませんでした。例えば、私は日本で一人で電車に乗るのがとてもこわかったです。間違えて違う電車に乗ってしまったら、家に帰れなかったのを心配しました。今まで、日本の電車に乗った時は必ず家族と一緒にだったので安心して、一人でチャレンジできて嬉しかったです。

私はオーストラリアに帰ったら、オーストラリアの大学を卒業するまであと一年半かかります。将来どのような仕事をしたらよいか考えている最中ですが、日本へ留学しに来たおかげで、日本で働くことに最近興味が出てきました。交換留学のプログラムに参加して、いろいろ新しいことを学んで、自分は成長したと思いたいです。一年間日本にいた予定が半年になったけど、その六ヶ月の毎日を日本で過ごせたことに感謝しています。

## 《松本ゼミナール》

私たちは松本ゼミナールは、映画、音楽、スポーツ、ゲーム、インターネットなどの現代メディアについて、幅広く研究を行っています。

そのため、明確にジャンルを問わない自由な発想での研究が可能であり、集まるのはそれぞれバラエティーに富んだメディアに関心のある、個性的なメンバーばかりです。

とはいえ、これだけ様々な分野を一つのゼミナールに束ねて、現代メ

## 《白石ゼミナール》

私達が所属している白石ゼミではスポーツがもたらす経済効果など、スポーツに関する事を主に学んでいます。ただスポーツについて学ぶだけではなく、普通救命救急士の資格を取得したり、スポーツボランティアを行ったり、自らスポーツに対して体験をして学んでいくゼミです。又、年一回に行う夏のゼミ合宿では、アクティビティを使い、自分たちで遊びを組立てることを行ってい

IAを総括して研究するのは非常に難しいでしょう。しかし、記号論や映像論やメディア論を専門としておられる松本先生が、豊富な文献や思想書の知識を武器に、私たちの未知なる分野への研究を日々強力にサポートしてください。

松本先生によって知識が偏らないように配慮された教材を元に、相互に協力しながら担当する教材の輪読発表、その論議に関するディスカッションをメインに活動することで、自分の研究テーマに関する知識をより深く得ることができ、自分の研究テーマ以外の知識

す。以前は、長野県の関山近くにある妙高ハイパレードというスポーツ施設に二泊三日で泊まりました。スポーツをするだけではなく、野尻湖を探索して絵を描いたり、絵と俳句コンテストを行ったりと、様々なオリエンテーションを混ぜてゼミ合宿をしました。四年生は卒論を中心に授業を行います。卒論はスポーツに関する事で、一つテーマを決めて調べて発表するという事です。各自スポーツに関係することを色々な観点から見、調べて、発表する、非常にやりがいがある卒論です。また、その中でブレ

# ゼミ探訪

も多く学ぶことができます。

また、それぞれの卒業論文の構想を発表する機会としてサブゼミも設けられており、生徒間で意見を交換しながら構想を練ることで、前人未到な分野の卒業論文への執筆のサポート体制も整えています。

研究以外のイベントも豊富です。夏季休業期間の恒例となっている京都合宿をはじめとして、学園祭では自主制作映画の上映、ゲームのトーナメント大会、松本先生自らがDJとして腕を振るわれるクラブイベントの開催など、生徒の意欲的な活動を尊重した活発なゼミナールの運営を

ゼミナールの発表の方法などを白石先生から学びます。これが主なゼミでの内容です。白石ゼミには特徴が二つあります。一つ目は、スポーツに興味が無い人でも色々な観点からスポーツを学んでいくので、スポーツに関心を持てるようになることです。二つ目は、白石先生が非常に学生の為を思っていてくれることです。白石先生はゼミの事だけでなく、就職活動の事にも力を入れてくれるほど学生のことを思っていてくれています。そんな白石先生の指導のもとスポーツに関する事を日々探求し続けています。

目指し、それを実践しています。



国文学科四年 田中 裕樹



国際政治経済学科四年 高村 直也

# 卒業パーティーの開催について

父母会では、卒業生の皆さんのご卒業を祝し、また、在学中お世話になった教職員の皆様への感謝の気持ちを込めて、卒業パーティーを開催しています。卒業生の皆さんは是非ご出席願います。卒業パーティーの内容は次のとおりです。

### 【日時】

平成二十四年三月十九日(月)  
午後二時から四時

### 【会場】

帝国ホテル  
本館三階「富士の間」

〒100-8558  
東京都千代田区内幸町一丁目  
地下鉄日比谷駅下車徒歩三分

### 【次第】

- 一、開会
- 二、挨拶
- 三、乾杯
- 四、歓談・ゼミ写真撮影
- 五、閉会

○歓談の時間を利用して、ゼミ毎の集合写真撮影を設けています。時間に制約がありますので、あらかじめ撮影順番を決めております。ご協力ください。

○卒業生の皆さんには「リボン」を必ず着用していただきます。「リボン」は卒業式当日配付します。

○楽しい卒業パーティーとするために、ホテルでのマナーを守りましょう。二松学舎大学卒業生として恥ずかしくない行動を期待しています。



## 編集後記

明けましておめでとうございます。昨年は、東日本大震災それに起因する原発災害、そして台風被害と暗いニュースが相次ぐなか、なでしこジャパンの活躍に復興への勇気を頂いた方も少なくなかったことと思います。今年は、明るい話題や出来事の多い年であることを期待します。

二十三年度の創縁祭も盛大に行なわれ、おかげさまで父母会の休憩所も評判は上々、大盛況でした。二松学舎大学は、今年百三十五周年を迎えます。わが国の私学で二番目の歴史を誇る大学です。学祖三島中洲翁の漢学塾二松学舎建学の精神は、自ら考え行動できる能力を身につけ、社会に有為な人材を養成することにありました。この精神は、本学建学の理念として脈脈と受け継がれ、今年も多くの人材が羽ばたきます。これから将来を見据え、根気強く自己の研鑽を積み社会に貢献されることを願っています。

昨年は大震災のため中止した卒業パーティーですが、今年は帝国ホテルで盛大に行ないます。仲間と楽しく語らうのもよし、惜別の感傷にひたるのもよし、学生生活の締め括りに相応しいひと時を過ごしていただけたらと思います。

## 大学の講義を受講してみませんか

二松学舎大学には、科目等履修生制度があり、大学の授業を広く一般の皆様にご開講しています。科目等履修生制度とは、大学で開講している授業科目(一々数科目)を学生と一緒に受講し単位も取得できる制度です。本学学生のご父母の皆様は、生涯教育の一環として一人でも多く大学の授業を受けて頂きたいとの趣旨から、登録料の免除、科目等履修料の減額

措置を講じております。この機会に是非お子さんと一緒に大学の授業を受けられることをお勧め致します。内容は、次の通りです。

### ■公開科目

学部・大学院で開講している授業科目のうち、原則として演習科目を除く授業科目を公開いたします。

### ■募集要項

平成二十四年度の募集要項についてのお問い合わせは、二月になりましたからお願いします。

### ■受講料

一科目 通年科目 三万円  
半期科目 一万五千元

### ■問い合わせ先

二松学舎大学教学課・柏事務課

